

令和6年度  
秋田公立美術大学

# 入学試験問題

秋田公立美術大学  
AKITA UNIVERSITY OF ART



## 目 次

### 1 学校推薦型選抜

#### 推薦選抜Ⅰ、社会人特別選抜

実技試験 鉛筆デッサン…………… 1

推薦選抜Ⅱ 小論文試験…………… 4

### 2 一般選抜試験

前期日程 実技試験 鉛筆デッサン…………… 6

選択試験 着彩表現…………… 9

色彩表現…………… 12

立体表現…………… 15

小論文…………… 18

中期日程 実技試験 鉛筆デッサン…………… 20

# 令和6年度

## 学校推薦型選抜〔推薦選抜Ⅰ〕

### 社会人特別選抜

#### 実技試験

##### <注意事項>

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は使用しないこと。
- ・ 上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ A4用紙2枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B3用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和5年11月25日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（計量器、マスキングテープ）を自由に構成し、描写しなさい。

「条件」

- 1 9時から9時30分までは、構成を考える時間とし、  
解答用紙に描いてはいけない。ただし、配付されたA4用紙には、スケッチ等を描いてもよい。
- 2 モチーフの加工は自由とする。
- 3 解答用紙は横位置とする。

「時間」

9時00分から13時00分まで（240分）



<用紙> TMK ポスター B3 特厚口

# 令和6年度

## 学校推薦型選抜〔推薦選抜Ⅱ〕

### 小論文試験

#### ＜注意事項＞

- ・ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ・ 解答用紙は問題冊子の中に1枚あります。問題は1題あります。
- ・ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせなさい。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰らないこと。

令和6年2月3日  
秋田公立美術大学

## 問題

本学では、「芸術の未知の領域に強い関心を持つ人」を入学者受入れの方針の一つとして定めている。そこで、あなたの考える「芸術の未知の領域」について簡潔に述べ、その領域に関心を持つようになった理由を具体的に論じなさい。なお、解答にあたっては 40 字以内の表題を付け 1200 字以内で論じること。

## 時間

10時00分から12時00分まで（120分）

# 令和6年度

## 一般選抜試験（前期日程）実技試験

### 鉛筆デッサン

#### <注意事項>

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は使用しないこと。  
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ A4白紙2枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B3画用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和6年2月25日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（ネット、手芸綿、段ボール板）を自由に構成、加工したうえで描写しなさい。

「条件」

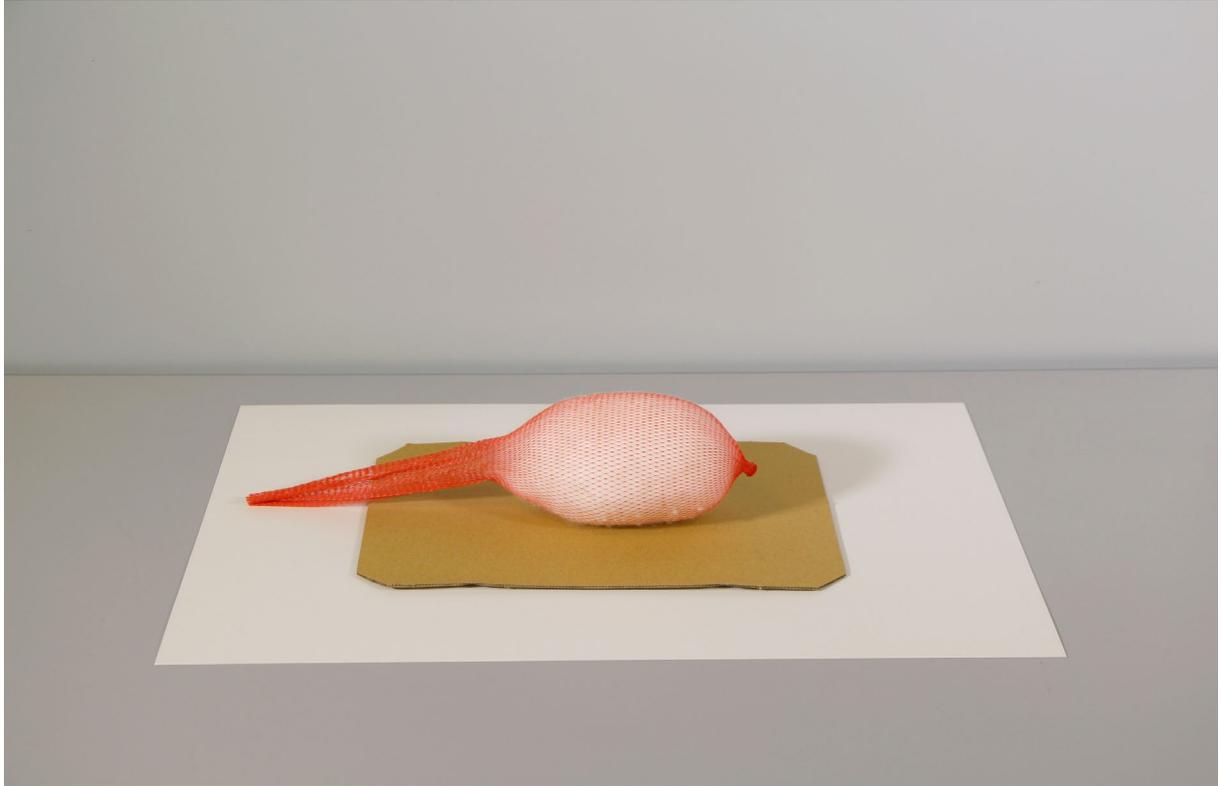
- 1 試験開始12時から12時30分までは、モチーフを構成する時間とし、解答用紙に描いてはいけない。

ただし、配付されたA4白紙2枚にはスケッチ等を描いてもよい。

- 2 解答用紙は横位置とする。

「時間」

12時00分から16時00分まで（240分）



<用紙> TMK ポスター B3 特厚口

# 令和6年度

## 一般選抜試験（前期日程）選択試験

### 着彩表現

#### <注意事項>

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）、透明水彩絵の具、筆、筆洗、パレット（絵皿・紙パレット可）、雑巾以外は使用しないこと。  
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ 着色に必要な水は、試験開始後、着色を始める時に、試験室内の水場で各自用意すること。
- ・ A4白紙2枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B3画用紙）の裏の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和6年2月26日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（お面、三角帽子、カラーワイヤー）  
すべてを自由に加工、構成のうえ、着彩表現しなさい。

「条件」

- 1 解答用紙は横位置とする。
- 2 配付されたA4白紙2枚にはスケッチ等を描いてもよい。
- 3 ペンチはモチーフの加工に使用すること。

「時間」

- 1 2時00分から16時00分まで（240分）



<用紙> TMK ポスター B3 特厚口

# 令和6年度

## 一般選抜試験（前期日程）選択試験

### 色彩表現

#### <注意事項>

- 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）、ポスターカラーまたはアクリル絵の具、筆、筆洗、パレット（絵皿・紙パレット可）、直定規（60cm以内のもの）、三角定規（30cm以内のもの）、雑巾以外は使用しないこと。  
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- コンパス、マスキングテープ、からすぐち、みぞひきガラス棒、クロッキー帳、配色カードの使用は認めない。机上に出ている場合、試験開始前に机上からかたづけること。
- 着色に必要な水は、試験開始後、着色を始める時に、試験室内の水場で各自用意すること。
- A4白紙2枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- 解答用紙（B3イラストレーションボード）の裏の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和6年2月26日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（山型クリップ）を用いて、自由に色彩表現しなさい。なお、画面構成はモチーフのみで表現すること。

「条件」

- 1 解答用紙は横位置とする。
- 2 解答用紙の中央に縦30cm×横40cmの長方形を描き、画面とする。
- 3 画面内は全て彩色すること。
- 4 配付されたA4白紙2枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

- 1 2時00分から16時00分まで（240分）



<用紙> KMK ケント (イラストレーションボード) 3mm 厚 B3

# 令和6年度

## 一般選抜試験（前期日程）選択試験

### 立体表現

#### <注意事項>

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ、はさみ、直定規（60cm以内のもの）、三角定規（30cm以内のもの）、コンパス、のり、ペンチ、雑巾、スチロールボンド、木工用ボンド、両面テープ、セロハンテープ以外は使用しないこと。 ＊スチロールボンド、木工用ボンド、両面テープ、セロハンテープは、本学から配付する。上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ カッターは必ずカッターマットの上で使用すること。机を傷つけないように十分に注意すること。
- ・ ボンド、のりなどが机に付着した場合はすみやかに雑巾で拭き取ること。
- ・ A4白紙2枚は、スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用の板の所定欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、材料は持ち帰らないこと。

令和6年2月26日

秋田公立美術大学

「問題」

5種類に分割された10cm立方のスタイロフォームの塊を再構成して自由に立体を表現しなさい。

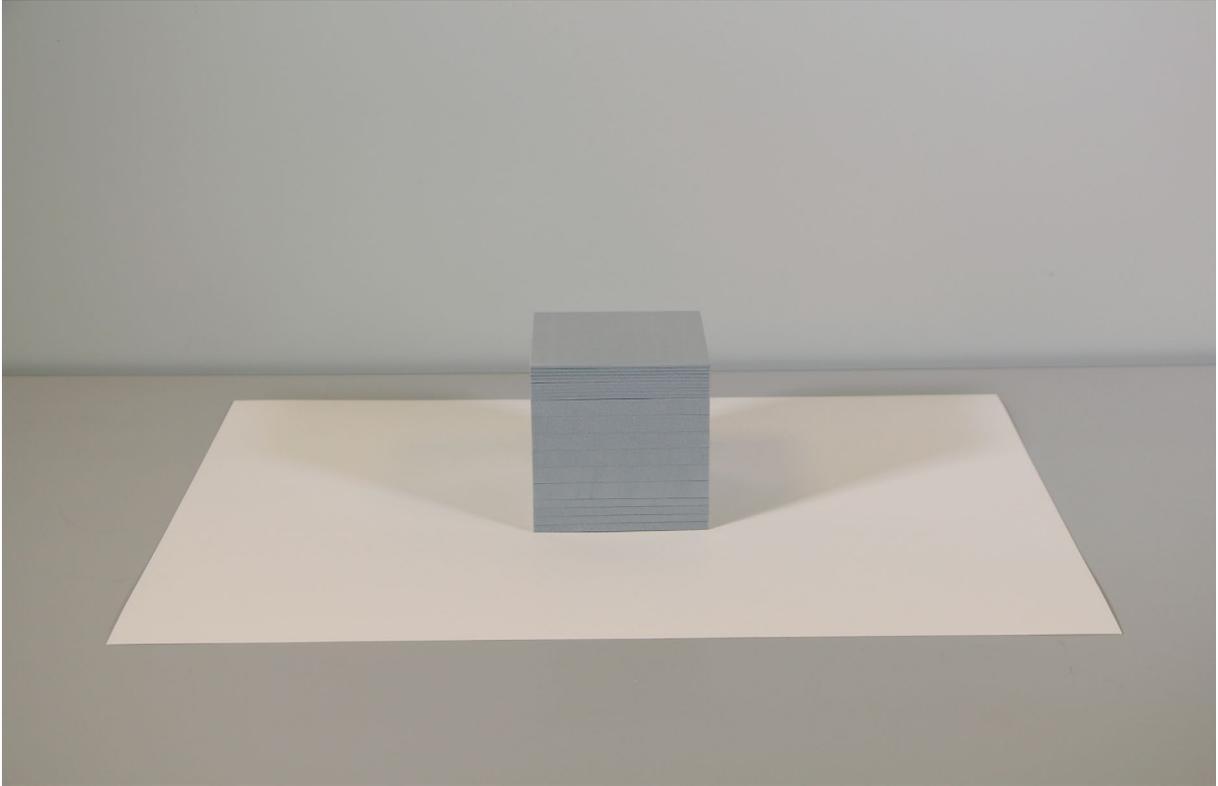
また、別紙に制作意図を100字以内で書きなさい。

「条件」

- 1 立体は解答用の板からはみ出さないこと。
- 2 立体は解答用の板に固定すること。
- 3 与えられたスタイロフォームはすべて使用すること。  
ただし、加工で出た端材は使用しなくてもよい。
- 4 配付されたA4白紙2枚にはスケッチ等を描いてもよい。

「時間」

12時00分から16時00分まで（240分）



# 令和6年度

## 一般選抜試験（前期日程）選択試験

### 小論文

#### <注意事項>

- ・ 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- ・ 解答用紙は問題冊子の中に1枚あります。問題は2題あります。
- ・ 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの乱丁・落丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机の上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 監督者の指示に従って、解答用紙に受験番号を記入すること。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰らないこと。

令和6年2月26日  
秋田公立美術大学

本学の昨年度の小論文における「評価のポイント」は以下のとおりである。「評価のポイント」をよく読んだ上で、次の問1、問2に答えなさい。

「評価のポイント」

- ・ 美術・工芸・デザインの分野に関して強い関心があるか、またこれらの分野について基本的な知識を有しているかを評価した。
- ・ 出題の内容を適切に理解し、発想力や企画力、問題解決能力をもって論述しているかを評価した。
- ・ 誤字、脱字などを含めた文章作成の基礎力と、論述の際に用語を適切に使用しているかを評価した。

問1

上記の「評価のポイント」とあなたが得意とする分野を照合し、あなたが本学から最も高く評価されると期待できる小論文の問題文を作成しなさい。

作成する問題文は200字以内とし、表題の可否や文字数など、解答にあたっての注意事項は不要である。

問2

問1で作成した問題文が、なぜ本学があなたを最も高く評価する問いになると考えたのか、その理由を具体的に論じなさい。なお、解答は1000字以内とすること。

時間

12時00分から14時00分まで（120分）

# 令和6年度

## 一般選抜試験（中期日程）実技試験

### 鉛筆デッサン

#### <注意事項>

- ・ 鉛筆、消し具、カッターナイフ（鉛筆削り用）以外は描画で使用しないこと。  
上記以外のものは、試験開始前に机上からかたづけること。
- ・ A4白紙2枚は、モチーフではありません。スケッチ等に使用すること。
- ・ 時計のアラームは必ず切ること。時計（腕時計等）は机上に置いてよい。
- ・ 携帯電話等の電子機器類は、電源を切り、机上からかたづけること。
- ・ 試験時間中の退室は原則として認めない。なお、トイレや体調が悪くなった場合などは、手を挙げて指示を仰ぐこと。
- ・ 解答用紙（B3画用紙）裏の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。
- ・ フィキサチーフ（定着液）は使用しないこと。
- ・ 試験終了の合図の後に、解答用紙に絶対に手を加えないこと。
- ・ 問題用紙、モチーフは持ち帰らないこと。

令和6年3月8日

秋田公立美術大学

「問題」

与えられたモチーフ（ブックエンド、コースター15枚）を自由に構成、加工したうえで描写しなさい。

「条件」

- 1 試験開始12時から12時30分までは、モチーフを構成する時間とし、解答用紙に描いてはいけない。  
ただし、配付されたA4白紙2枚にはスケッチ等を描いてもよい。
- 2 ハサミはモチーフではありません。モチーフの加工に使用すること。
- 3 解答用紙は横位置とする。

「時間」

12時00分から16時00分まで（240分）



<用紙> TMK ポスター B3 特厚口